



【教育目標「知性」「品格」「至誠」「体力」を身につけた活力ある生徒 【重点目標目標を持ち、最後までやり通すことができる】

梅雨入りが遅く、じめじめとした不快感は少ないのはなによりとっていたところ、26日、県内も梅雨入りのニュースが流れました。全国各地では、大雨や落雷警報が発令されているところもあり異常気象には注意してまいりたいと思います。6月を振り返りますと中体連相双地区予選大会を中心に計画しました教育活動やPTA活動を充実したものとして実施できました。7月は中体連県大会や吹奏楽等各種コンクールが実施されます。生徒たちにはさらなる高い目標をもたせ、充実した一学期末を迎えさせたいと考えます。



□6/7(日)PTA奉仕作業 子どもたちのよりよい学習環境づくりに汗を流す！

休日早朝にもかかわらず、1年生の保護者の皆さんを中心に112名の参加をいただき、校舎の窓ガラス拭き、校地内の除草を行っていただきました。お父さん、お母さん方が汗をふきふき、作業に取り組んでいる姿が見られました。普段、生徒と教師が清掃したり、小野田用務員さんが環境整備に努めたりしていますが、なかなか手が行き届かない所があります。今回の作業で校舎内外がとてもきれいになりました。“環境が人をつくる”とも言われます。施設環境、学習環境を整え、学習に、生活にしっかり取り組ませたいと思います。

ご家庭でも、お子様にできる範囲で結構ですので係を決め、実行させ、家族の一員として役割を果たすことの大切さについて自覚させることは重要であると考えます。



□6/13(土)市連P教育を語る会「子どもの自立と親の役割」について理解を深める。

子どもたちを取り巻く環境の急速な変化は親が担う「子育て」のみならず、子どもたちが様々な経験を通して自ら生きる力を獲得していく「子育て」にも大きな影響を与えている状況を踏まえて子どもの自立について山上小学校を会場に家族カウンセリング“陽だまり”所長 掃部陽子氏の講演及び分科会が開催されました。「子どもの自立」を図るために「言葉の力」や「自分で考える力」「想像する力」「試そうとする力」「やり抜く力」等の基礎力を幼児期から10歳頃までに形成しなければならないことや親の役割として次のような話がありました。「子育て」の参考にしていただきたいと思います。

- (1) 言って教えるより、やって見せて考えさせる→思考力、自律心、判断力、表現力を育てる
- (2) 子どもが取り組む課題か、親が取り組むべき課題か、分離して考える
→主体性、自己肯定感、責任感、洞察力、表現力が育つ
- (3) 「勇気づけ」は、子どもをやる気にさせる魔法の言葉
→自己肯定感、耐性、修復力、寛容の心、責任感が育つ
- (4) これまでの「親は～してはいけない」を「～してもいい」に変えてみる
例えば、親だって失敗してもいい→どう改善し、どう修復するか、その姿を見せる
- (5) 問題が起きて「慌てない」「焦らない」「諦めない」→早めに学校、専門機関等に相談
- (6) 「発達障がい」の壁、その理解と支援→あれっと思ったら、まず相談



行事予定

3日(金)授業参観・学年P例会	12日(日)県吹奏楽コ相双支部 大会 (ゆめはっと)	17日(金) 第一学期終業式 給食なし (弁当)
2学年行事	13日(月) 少年の主張相馬大会	21日(火) 夏季休業～8月24日
7日(火) 県中体連陸上大会	(中村一中)	22日(水) 県中体連総合大会
～9日(木)(開成山陸上競技場)	16日(木)夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動～25	～24日(金) (県内各会場)